



スクールワークを はじめよう

iPadのためのスクールワーク
アプリケーション教師向けガイド



スクールワークの概要

目次

スクールワークの概要

はじめる前に

クラスを設定する

最初の課題を作成する

ファイルを追加する

共同作業を行う

アプリケーションのアクティビティを

追加する

クラス全体と各生徒の進捗状況を

確認する

個々の生徒にフォーカスする

課題をもっと活用する

プライバシー

スクールワークの設定

こちらをご覧ください

スクールワークは、教師のみなさんと生徒たちがiPadをより効果的に指導と学習に活用できるようになる、パワフルなiPadアプリケーションです。シンプルで美しいデザインなので、課題を作成して共有することが数回のタップだけで簡単にできます。教材や資料を配るのも集めるのも、教育アプリケーションを使ってそれぞれのペースで学習を進める生徒の様子を見守るのも、どこからでもリアルタイムで生徒とつながり、1対1でやり取りするのも、すべてがすばやく行えます。スクールワークは、生徒たちにとっても簡単に使える便利なツールです。課題が期限別、科目別に整理されてiPad上に自動で表示されます。教師のみなさんはクラス全員の学習状況を把握できるようになるので、生徒一人ひとりのニーズに合わせて教え方を調整することもできます。



アプリケーション内のクイズやドリル、読み物を課題に設定することも可能です。スクールワークに対応しているアプリケーションをブラウズして指導内容に合ったコンテンツを見つけ、そのアプリケーション上のアクティビティを生徒と共有することができます。生徒はワンタップするだけで、指定されたアクティビティに直接移動することができます。

このガイドでは、スクールワークの概要を説明し、使いはじめるための手順と、毎日の授業での活用方法を紹介します。

はじめる前に

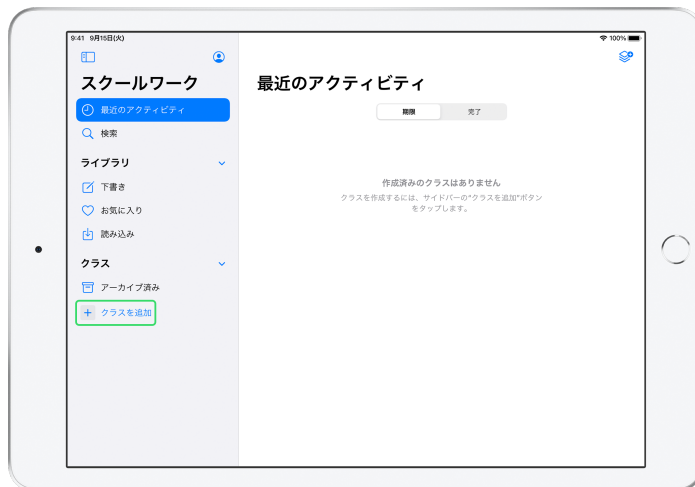
iPadのためのアプリケーションのスクールワークは、Apple School Managerで簡単に設定できます。所属する教育機関のIT担当者と連携して、教師のみなさんと生徒が学校で使うアカウントの設定が完了し、Apple School Manager上で生徒の進捗状況を収集する機能が有効になっているか、確かめましょう。

クラスを設定する

クラスはIT担当者が作成します。Apple School Managerでアカウントが設定されていれば、教師のみなさんが直接クラスを作成することもできます。



IT担当者がスクールワークのインストールと設定を完了したら、iPadでスクールワークアプリケーションを開きます。スクールワークのサイドバーには、Apple School Managerで設定したクラスが自動的に反映されます。



自分のクラスを追加するには **+** をタップします。



クラスに名前をつけ、クラスを表す色とアイコンを選択します。「生徒」をタップして生徒を追加します。



生徒の名前を途中まで入力すると、追加する生徒の候補が表示されます。名前をタップして追加します。追加できるのは、Apple School Managerで設定済みの管理対象Apple IDアカウントを持っている生徒のみです。生徒をすべて追加したら「完了」をタップします。



「クラスを追加」をタップして、選択した生徒で構成されるクラスを作成した後、「完了」をタップしてクラスの設定を完了します。生徒はいつでも追加できます。新しいクラスがサイドバーに表示されます。

最初の課題を作成する

スクールワークでは、課題を簡単に作成して配布できるので、毎日のワークフローがシンプルになります。課題は多様な形式に対応しており、ウェブリンク、PDF、作業用ファイル、さらにはアプリケーション内のアクティビティへのリンクなどを生徒と共有できるほか、連絡事項やリマインダーの送信などさまざまな用途で使うことができます。生徒もすべての授業の課題を一覧で確認することができるので、取り組むべきすべてのものを簡単に把握できます。



サイドバーで、課題を作成するクラスをタップします。作成する課題はこのクラスのページに表示されます。

 をタップして新しい課題を作成します。



宛先の一覧(クラス全体または個々の生徒を選択します)、課題名、課題の説明を追加します。期限を指定することもできます。

次に、生徒に見てもらいたいウェブリンクや、配布するファイルを追加します。必須項目は宛先と課題名のみです。その他の情報は省略できます。

課題を投稿する準備ができたなら、 をタップします。下書きを保存して後で送信することもできます。

ファイルを追加する


様々な種類のファイルを生徒と共有して、課題を完成させるために必要な教材を生徒が利用できるにします。課題には様々な形式のアクティビティを取り入れることができるので、教師のみなさんはありとあらゆるクリエイティブな課題を設定できます。生徒も創造力豊かに取り組んでくれることでしょう。



新しい課題で「ファイル」をタップします。



次に、ファイルをブラウズして、追加するファイルをタップします。または、ファイルアプリケーションや Safari など、ほかのアプリケーションを並べて開いておいて、ファイルや URL を課題にドラッグすることもできます。

複数のアクティビティやファイルを課題に追加するには、この手順を繰り返します。終わったら  をタップします。

生徒のiPad



生徒のダッシュボードには、すべてのクラスの課題が期限ごとに表示されるので、未完了の課題を一覧で把握できます。

生徒が取り組む際には、まず課題をタップして開き、教師のみなさんの指示に従って、追加されたアクティビティのいずれかをタップします。



スクールワークは、教師のみなさんが生徒のために iCloud Drive 経由で共有したファイルを、自動的に整理します。この例では、「数学」の授業で「整数」という課題が作成され、「整数ワークシート」というファイルが課題として追加されています。クラスのすべての生徒に投稿すると、教師のみなさんと生徒の iCloud Drive に「スクールワーク」>「数学」>「整数」フォルダが作成され、「整数ワークシート」ファイルが追加されます。

共同作業を行う

スクールワークでは、Pages、Numbers、Keynoteを使った課題のアクティビティ上で生徒とファイルを共有し、共同作業を行うことができます。生徒が課題に取り組んでいる途中に、教師のみなさんがそのファイルを確認したり、編集、コメントの追加、さらにはオーディオの録音を行うことで、リアルタイムでフィードバックを提供し、指導できます。



課題にPages、Numbers、Keynoteのファイルを使うと、生徒と1対1や1対複数で共同作業することができます。 ⓘ をタップし、「各生徒が自分のファイルを編集できます」を選択すると、生徒と1対1で共同作業ができます。「生徒が同じファイルで共同制作します」を選択すると、生徒全員、もしくは指定する生徒と一緒にひとつのファイルで共同作業を行うことができます。



生徒との共同作業は、Pages、Numbers、Keynoteから直接はじめることもできます。 ⓘ をタップしてから、「共有」、「スクールワーク」の順に選択すると、スクールワークの新規課題を作成できます。

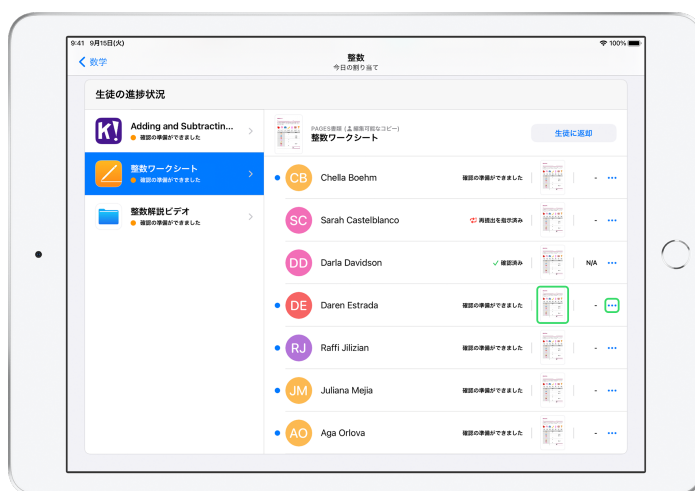
生徒のiPad



生徒ごと別々にファイルを共有した場合、各生徒は個人用のコピーで作業を行います。

生徒には、作業が終わったら、共有されたPages、Numbers、Keynoteファイルの「提出」ボタンを使って提出するように指示します。

ファイルを提出すると、生徒は編集できなくなります。ファイルを変更する必要がある場合は、提出をキャンセルしてから再提出します。



課題の詳細ビューまたはiCloud Driveから共有ファイルを開き、生徒の進捗状況を確認します。

共同制作機能を使うことで、生徒が課題に取り組んでいる中でもリアルタイムのフィードバックを作業ファイル内で提供できるようになります。ファイルを編集したり、描画ツールで注釈を加えたり、オーディオ録音でフィードバックしたりすることもできます。生徒の提出物の確認が終わったら、生徒一人ひとりに、またはクラス全体にファイルを返却することができます。ファイルを返却すると、教師のみなさんと生徒のそれぞれにファイルのコピーが残り、生徒は課題を再提出できなくなります。

生徒ごとに個別に提出物を返却する場合は、返却する生徒の をタップした後、「生徒に返却」をタップします。クラス全体に返却する場合は、右上の「生徒に返却」をタップします。

アプリケーションのアクティビティを追加する

スクールワークを使えば、生徒をアプリケーション内の適切な場所へ簡単に誘導できます。スクールワーク対応アプリケーションをブラウズして授業内容に合ったコンテンツを見つけ、そのアプリケーションのアクティビティを生徒と共有することができます。生徒はワンタップするだけで、指定されたアクティビティに直接移動できます。



新しい課題で「App アクティビティ」をタップします。



iPadにインストールされているアプリケーションの一覧(生徒の進捗状況を確認できるアプリケーションを含む)が表示されます。生徒の学習目的に適したアクティビティを行えるアプリケーションを選択します。

対応アプリケーション内から特定アクティビティを課題として指定することもできます。アプリケーションを開いて適切なアクティビティを見つけ、共有メニューを使ってスクールワークで新規課題を作成します。



スクールワークに、各アプリケーション内の指定可能なアクティビティが表示されます。



学習目的に合ったアクティビティを選択します。選択したら「完了」をタップし、↑をタップして課題を投稿します。

生徒のiPad



生徒は、アクティビティが指定された課題を受け取ると、スクールワークでアクティビティをワンタップするだけで、そのアクティビティに直接移動できます。

クラス全体と各生徒の進捗状況を確認する

教育機関側の設定で、Apple School Managerで生徒の進捗状況を収集する機能を許可すると、各生徒の現状が一目でわかるようになり、個々の生徒の進み具合や、全課題の提出状況を確認できるようになります。

もう少し難しい課題を出した方がいい生徒、手助けが必要な生徒などの把握が簡単になるので、生徒一人ひとりに個別最適化された学びを提供することが可能です。学校でこの機能を有効にしていなくても、スクールワークの使用には差し支えありません。

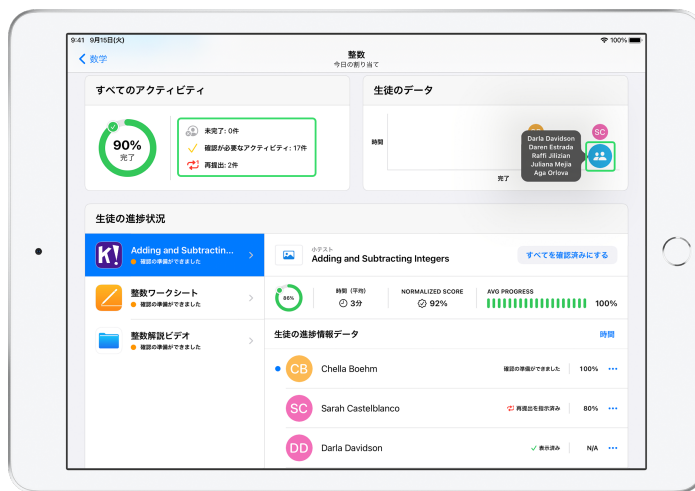


特定の課題のクラス全体の進捗状況を表示するには、「最近のアクティビティ」を開くか、サイドバーでクラス名をタップし、その課題を選択します。



課題の詳細ビューに、クラスの生徒全員のデータが集約されて表示されます。

生徒の進捗状況の収集に対応したアプリケーションでは、アクティビティの完了後に生徒の学習履歴が自動的に送信されます。



「すべてのアクティビティ」チャートには、課題として設定したアクティビティの中で、未完了、見直すアクティビティ、やり直しとなっているものの数が表示されます。

「生徒の進捗状況」チャートには、課題として設定したすべてのアクティビティについて各生徒の進捗状況が表示され、支援が必要な生徒や、より難易度の高い課題を配布すべき生徒を見極めるのに役立ちます。



生徒の一覧で名前をタップすると、各生徒のアクティビティの状況を示す詳細ビューが表示されます。

表示されるデータはアクティビティの種類によって異なります。たとえば、合計時間、進捗状況、クイズのスコア、利用したヒント、獲得した点数などのデータが表示されます。

生徒全員の提出物の確認が完了したら、「すべてを確認済みにする」をタップします。

個々の生徒にフォーカスする

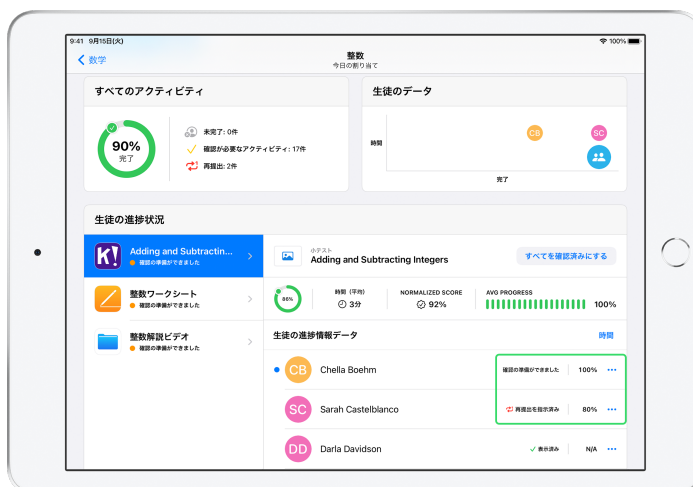
生徒の詳細ビューはスクールワークのユニークな機能です。教師のみなさんが指定した、スクールワーク対応アプリケーション内での進捗や、提出済みの課題をまとめて表示できます。各生徒の学習状況を詳細に確認することで、それぞれのニーズに合わせて教え方を調整できます。



特定の生徒のすべての課題の提出状況を表示するには、サイドバーでクラスを選択した後、生徒の名前をタップします。

生徒もアプリケーションを使って自分の進捗を確認できるので、主体的に学習を進められるようになります。

選択した生徒だけに新規課題を追加することもできます。



スクールワークでは進捗状況データを確認できるので、アクティビティをやり直す必要がある生徒や、課題をロックした後、もう少し時間が必要な生徒を見極めるのに役立ちます。

- 「見直しの準備ができました」と表示されている生徒の提出物については、**⋮** をタップし、「やり直しを依頼」をタップして指示内容を入力した後、**↑** をタップします。
- 「未完了」と表示されている生徒の提出物については、**⋮** をタップし、「完了を許可」をタップします。

課題をもっと活用する

スクールワークの課題の詳細オプションを使って他にもいろいろなことができます。提出リクエストを利用すると、提出物の形式を生徒が選べるようになります。書類をスキャンする機能を使えば、紙のプリントをデジタルワークフローに取り込めます。課題を作成するときにiPadOSのマルチタスキングを利用することで、ワークフローの簡略化も可能です。期限後に提出された課題があるかを確認したり、課題を差し戻して再提出を指示したり、期限後は提出ができないようにしたい場合は課題をロックすることもできます。



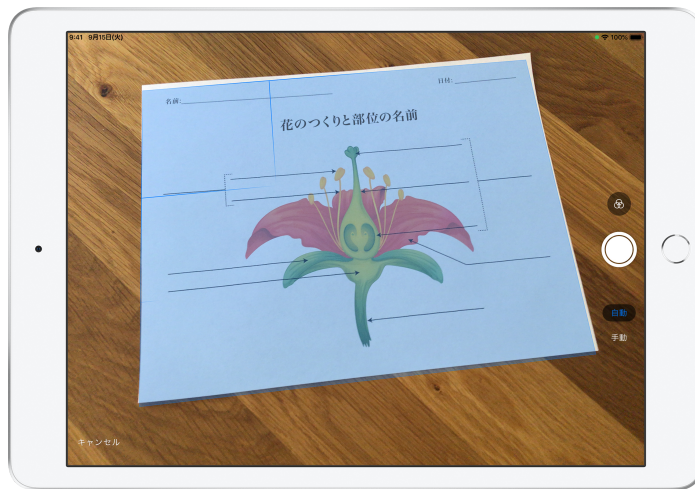
提出リクエストを利用すると、学んだ内容をまとめて表現する方法を生徒自身が選択し、提出することができます。

新規課題を作成する時に、「提出リクエスト」、「名称未設定項目」の順にタップし、提出アクティビティのタイトルを入力します。終わったら↑をタップします。



生徒は課題をスクールワークから提出することも、他のアプリケーション上から共有ボタンを使用して提出することもできます。アプリケーションファイル、共有ファイル、PDF、写真、ビデオなどを提出できます。

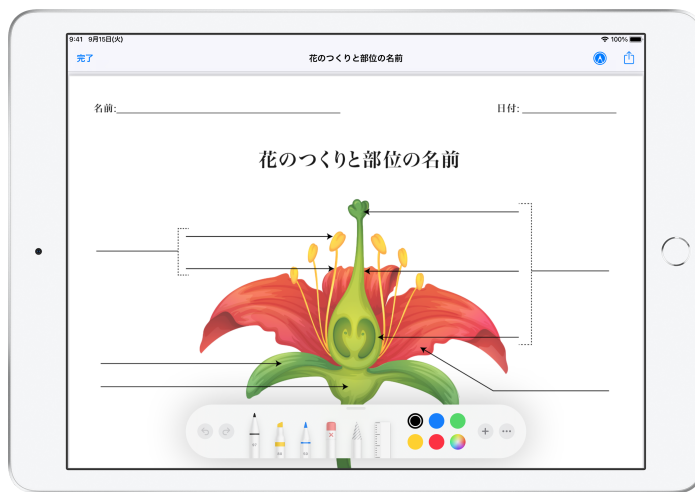
たとえば、iPadでPagesを使ってファイルを作成した場合は、⋯をタップし、「共有」、「スクールワーク」の順に選択してから、クラスと課題を選択してファイルを送信することができます。



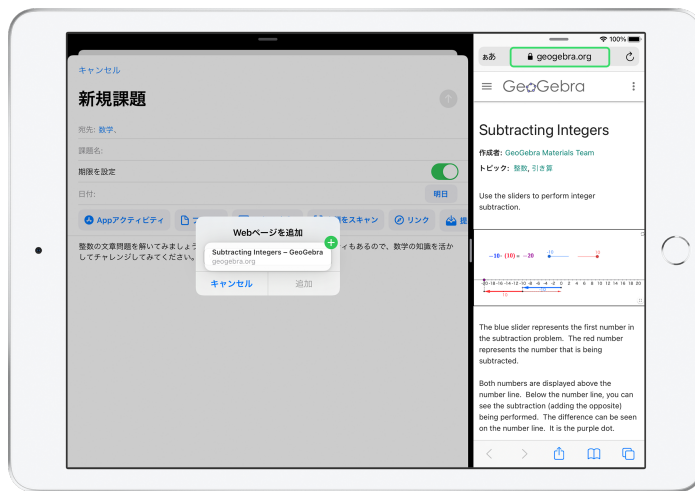
スクールワーク内蔵の書類スキャン機能を使えば、プリントなどの紙ベースの学習成果物をデジタルワークフローに取り込むことができます。

新規課題を作成して「書類をスキャン」をタップした後、iPadのカメラに収まるように書類を置きます。自動モードを使うか、手動でスキャンします。画像の隅をドラッグしてサイズを調整し、「スキャンを保持」をタップします。

続けて書類に追加するページをスキャンし、「保存」をタップして終了します。「名称未設定の書類」をタップし、スキャンした書類のタイトルを入力します。終わったら↑をタップします。



スクールワークはスキャンした書類からPDFを作成します。生徒は課題を受け取ったら、PDFファイルに書き込みをしてその課題から直接提出します。また、生徒は提出リクエスト機能を使い、出された課題を紙で作業した後に「ファイルに追加する」をタップし、スキャンして取り込み提出することもできます。



iPadのマルチタスキングを使えば、ファイルやURLを簡単に課題にドラッグできます。画面の下から上にスワイプしてDockを表示し、ファイルなどのアプリケーションを長押しして最近使ったファイルを表示させ、共有したいファイルをドラッグするだけです。

Dockからアプリケーションをドラッグしてスクールワークの隣に並べて表示し、そのアプリケーションからファイルやURLをスクールワークにドラッグすることもできます。



課題に期限を設定した場合でも、生徒は期限後に課題を提出することができ、アプリケーション内で行った学習の履歴も記録されます。期限後に届いた提出物は、「遅れて提出済み」とマークされます。

提出を締め切りたい場合は、課題をロックすることができます。課題をロックすると、生徒は新たに制作物を提出したり、変更を加えたりすることができなくなり、アプリケーション内の学習履歴もスクールワークに記録されません。

課題をロック、編集、複製、お気に入りに登録、または削除するには、**⋮** をタップします。課題を削除すると、その課題と学習履歴はスクールワークから削除され、確認できなくなります。ただし、書類は引き続きファイルアプリケーションから利用できます。

生徒が課題内のアクティビティを完了し、生徒の進捗と提出物を確認して課題が不要になったら、完了済みとして課題をマークすることができます。完了済みにしておくと、スクールワークでは未完了の課題へのリクエストが取り消され、すべての課題ファイルのコピーが生徒全員に返却され、そのファイルのコピーが「完了」ビューに保存されます。課題を完了としてマーク、または削除した場合は、取り消しできません。

プライバシー

Appleは、教師のみなさんと生徒たちのプライバシー保護に積極的に取り組んでいます。スクールワークで生徒の進捗状況を確認するには、教育機関側でApple School Managerからその機能を有効にする必要があります。生徒の学習履歴は、教師のみなさんが指定するアクティビティについてのみ記録され、学校が提供する管理対象Apple IDを使って行われます。たとえば、教師のみなさんがApple Booksで『ロミオとジュリエット』の序章を読むよう生徒たちに指示し、ある生徒が『華麗なるギャツビー』も読んだ場合、あなたとその生徒が確認できる学習履歴は、読書課題として指定した『ロミオとジュリエット』の序章に関するもののみです。すべての生徒の学習履歴は、通信中も保存時も暗号化されます。所属する教育機関がこの機能を有効にしていない場合でも、スクールワークを使用することはできます。また、進捗状況の収集が許可されている時には、透明性確保のため、進捗状況が収集されていることを示す通知が生徒の画面に表示されます。

スクールワークの設定

IT担当者は、以下の手順に従ってスクールワークの設定を完了する必要があります。[PDFガイド](#)を担当者に送ることもできます。

1. Apple School Managerに登録、またはアップグレードします。
2. フェデレーション認証、SFTP、SISを使うか、または手動で、教師のみなさんと生徒用の管理対象Apple IDを作成します。
3. Apple School Managerでクラスを設定するか、教師のみなさんが自分でクラスを設定できるようにします。
4. Apple School Managerの「Appとブック」でスクールワークアプリケーションを入手します。
5. Apple School Managerを使って、生徒の進捗状況を確認する機能を有効にします。

こちらをご覧ください

[スクールワークユーザガイド教師用](#)

[スクールワークユーザガイド生徒用](#)

[Apple School Managerユーザガイド](#)

[教育の現場におけるApple製品のプライバシーとセキュリティについて](#)